

190

苗族
民族

緒言

五尺ノ壯体力ヨク千鈞ヲ棒ク

日本民族

トナスヲ得ルカ、否



テ然ラス、

勇氣勃興胸中ニ尊王愛國ヲ銘シ、剛胆毅直以テ

爲ニ應ニ機

ヲ察シ、文ニ流レス武ニ偏セス、國家

爲ニ

身ヲ犠牲ニ供スルモノヲ稱シテ眞

個ノ

族ト云フヘキナリ

恭シク惟ルニ、皇統一系万古ニ輝キ未タ嘗テ外

侮ヲ受ケサルノミナラス、却而彼ノ肝膽ヲシテ

寒カラシムルモノ、之レ我日本國昔日ノ狀況ニ

日本民族

非スヤ、夫レ然リ而シテ斯ノ如キ所以ノ者ハ、全
 ク上下戮力シ文武一途ニ且尙武ノ元氣存セシ
 ニ依ラスンハアラサルナリ、然ルニ輓近我國臣
 民ノ行爲ヲ觀察スレハ、明治聖代ノ雨露ニ沐シ
 昇平ノ恩澤ヲ蒙リ徒ニ文弱ニ流レ啻皮相ノ華
 美ニ傾キ日ヲ追ヒ月ニ隨テ尙武ノ元氣衰フル
 者ノ如シ豈切齒扼腕ニ堪ヘサラン哉、予輩如何
 ニ無學無識ナリト雖モ如何ソ默々ニ付スルケ
 ンヤ、謹テ思フ所ヲ述ヘ普ク天下ノ人士ニ訴ヘ
 國体ノ元氣ヲ鼓舞振起セシメ皇澤ノ万一ニ報

ニ國家ノ長久ヲ謀ラントス

明治二十七年六月 著 者 識

卷中目次

- 壹 日本ノ經歷
- 貳 鎖國主義打破セラレ文運日ニ進ム
- 參 國民ノ元氣衰ヒントスルヲ憂フ
- 四 虎狼ノ猛悍ニ對シ之レカ防禦ノ策

壹 日本ノ經歷

誰レカ今日ノ世勢ヲ稱シテ平穩ナリト云フヤ、
 誰レカ今日ノ世勢ヲ目シテ安寧ナリト云フヤ、
 知ラスヤ陰ニ一大衝突ノ起ルアラントスルヲ、
 活眼ヲ開テ方今五大洲ノ狀況ヲ見ヨ、口ニ喋々
 正理正道ヲ唱フルト雖、試ニ其ノ内心ヲ察視ス
 レハ實ニ愕カサルヲ得ス……詐……偽……世
 ハ實ニ弱肉強食優勝劣敗ノ状態ヲ現ハスニ至
 レリ、豈片時モ晏如タルヲ得ンヤ、恭シク惟ルニ
 神武皇帝皇緒ヲ繼キ、海内ヲ平定セラレシヨリ

年ヲ經スル茲ニ貳千五百五拾四年、世ヲ經ルコ
 ト百二十有餘ニ及ヘリ、而リト雖モ未ダ嘗テ外
 侮ヲ受ケス、却テ彼ノ肝膽ヲ寒カラシメキ、神
 后一度ヒ兵ヲ海外ニ示スヤ、四夷叩頭以テ謝シ
 手ニ唾セスシテ我隸属タリ、元主十万ノ兵ヲ以
 テ一躍我神洲ヲ襲取セント欲シテ一敗地ニ塗
 レ生還スルモノ僅ニ三人、豊公兵ヲ海外ニ出ス
 ヤ蠻奴辟易餘威ノ及フ所今ニ至ルマテ能ク嬰
 兒ノ啼泣ヲ止ムト、嗚乎偉ナル哉、快ナル哉、想フ
 ニ如斯功烈ヲ有シ此ノ如キ歴史ヲ有スルノ國

亦何所ニアル、嗚呼萬邦ト交通シ世情變遷スト
 雖、神洲ノ國礎ハ堅固ナルヘキナリ
 山ハ「ヒマラヤ」川ハ「ミスシツピー」國ハ我大日本
 ナ以テ稱セラルヘキナリ、抑々我邦土ノ斯ク萬
 國ニ卓絶スル所以ノモノハ、人口ノ多國民ノ學
 問智識等彼等ニ優ルニアラス、帝尊王愛國ノ志
 氣ニ富ミ、上下戮力國家ノ休戚ヲ共ニシタルカ
 故ノミ

貳 鎖國主義打破セラレ文運日ニ進ム
 今ヤ文運日ニ開ケ、月ニ倍々隆盛ニシテ、百度日
 ニ備リ月ニ整ヒ、而シテ文學ノ隆ナル未タ曾テ
 今日ノ如キアラス、數万ノ小學數十萬ノ生徒至
 ル所トシテ絃誦ノ聲ヲ聞カサルハナシ、嗚呼隆
 ナル哉、而リト雖モ讀者幸ニ既往ニ遡テ考一考
 セヨ、彼ノ嘉永ノ平空米艦一度ヒ浦賀ノ波ヲ破
 リ「ペルリ」來テ交通ヲ乞フヤ、朝議以テ不可トナ
 シ、志士亦頻ニ攘夷說ヲ唱フ、時ニ井伊直弼元老
 タリ獨リ開港ヲ唱ヒ群議ヲ排シテ竟ニ外國交

通ヲ許ス、以來連續交通セシト雖モ從來我日本
 帝國ハ長ク鎖國主義ヲ取り海外諸國ヲ度外ニ
 置キ自己ヲ賢トシ外人ヲ愚トス、曰ク赤鬢ノミ、
 曰ク碧眼奴ノミ、甚シキニ至テハ大聲罵詈シテ
 夷狄ト云フ、嗚呼何ゾ謬レルノ甚敷、今ヤ我邦土
 モ長足ノ進歩ヲナシ、共ニ堂々比肩スト雖、翻テ
 當時ヲ追懷スレハ彼我文明ノ相隔ル實ニ雲泥
 モ啻ナラサルナリ、然ルニ星移リ物變リ長ク鎖
 國主義ヲ保守スル能ハス、今ヤ萬國ト並立シ、弱
 肉強食ノ間ニ立テテ互ニ其雌雄ヲ争ハサルヘ

カラサル境遇トナリタルナリ、嗚呼夫レ如斯ナレハ
 吾邦土モ亦昔ノ邦土ト共ニ日ヲ全シテ語ルヘ
 キニアラザルナリ、故ニ我日本國民タル者ハ舊
 來ノ精神ヲ一洗シ尙層一層確固不拔ノ精神ヲ
 養成シ、更ニ不撓不屈ノ精神ヲ以テ後來大ニ成
 ス處ヲラザルベカラズ

參 國民ノ元氣衰ントスルヲ憂フ
 年々歳々花相似年々歳々人不全
 嗚呼夫レ嘆スヘキハ日本今日ノ狀況ナリ、抑モ
 日本國人ハ前章ニモ述ベタル如ク、大和魂ト云
 ヒル一種特得ノ精神ヲ藏蓄シ、一旦緩急アレハ
 義勇公ニ奉スルノ赤心ヲ具備スルモノナリ、然
 リト雖モ今哉世ヲ舉テ文弱ニ流レ精神萎微振
 ハサルモノ、如シ矣、嗚呼遺憾ナル哉遺憾ナル
 哉、神州男子何ゾ夫レ氣骨ノ衰ヘタルヤ、何ゾ治
 ミ居テ乱ヲ忘レズノ言ヲ省ミザル、思ハザルノ

甚シキナリ、苟モ國民ニシテ此ノ志氣無クンバ
 家ニ柱礎ノ無キカ如シ、何ヲ以テ萬國ト對峙ス
 ルヲ得ン
 語ヲ寄ス明治ノ青年諸子、活眼ヲ開テ天下ノ大
 勢ヲ見ヨ、飽クコト無キハ虎狼ノ如ク、暴威以テ
 吾ニ臨ムモノハ吾ヲ窺フニアリ、笑顔以テ吾ヲ
 招クモノハ利ヲ要ムルニアリ、熟考セヨ青年諸
 子、今世ハ實ニ優勝劣敗ノ競争場裡ナルヲ、徒ニ
 誇大空言大和魂ヲ唱言シ、英軍何物ゾ、露人何人
 ソト口ヲ極メテ罵詈スト雖、如何ソ本邦今日ノ

狀勢ニシテ能ク彼ニ駕越スルヲ得ベケンヤ、見
 ヲ彼ノ英國ヲ見ヨ、面積殆ント吾レニ類スト雖
 モ其外領ノ廣大ナル實ニ太陽其ノ領内ニ没ス
 ル無キハ果シテ何ニヨルヤ、富强萬國ニ冠シ常
 ニ歐洲ノ牛耳ヲ取ルハ果シテ何ニヨルヤ、世界
 ノ海王ト稱セララル、ハ果シテ何ニヨルヤ、之レ
 遠ク其原因アルアリト雖モ、銳意以テ報國精神
 ノ致ス所ニアラスンハ何ヲ以テ茲ニ到ランヤ、
 嗚呼我國民タルモノ省ミスンバアルベカラサ
 ルナリ

四 虎狼ノ猛悍ニ對シ之レカ防禦策

物本末アリ事終始アリ、勢力ニ亦强弱アリ、方今
 ノ泰西諸國ハ勢力亦我ニ起越ス、然ルアル所以
 ノ者ハ今日ノ文物ハ實ニ彼レノ我レヨリ先進
 ナルニ依ルモノニシテ文事武事早ク彼レニ備
 リ我レ彼レノ長ヲ取テ今之ヲ應用スルノ状態
 ナレハナリ、彼レ已ニ然リ、而レテ彼ハ我ヲ見ル
 コト小兒ノ如ク其心中ハ虎狼ノ如ク猛悍ニシ
 テ我神州ヲ一擱セントスルノ意ナキニアラサ
 ルナリ、嗚乎眞ニ然リ苟モ國民ニシテ之ニ對ス

ル防禦ノ策ヲ究メスシテ可ナランヤ、彼ヲ思ヘ
 之ヲ考フレハ實ニ切齒扼腕ニ堪ヘサルナリ、翻
 テ我國狀ヲ察スルニ口ニ喋々尊王愛國ヲ唱フ
 ルモノアリト雖モ只皮相ノ華言ナル而已敢テ
 信スルニ足ラズ、視ヨ一致協合確固不拔ノ精神
 無キヲ
 抑我日本タル實ニ東洋ノ一孤島之ヲ環ラスニ
 海ヲ以テシ漸ク三十年來萬國ト交通ヲ開キシ
 ト雖、其以前タル實ニ外國ト交通スル無ク志士
 タリトモ或ハ我日本有テ他國アルヲ知ラサリシ

ナリ、然ルニ米使ノ來テ交通ヲ乞フヤ米使ヲ以
 テ夷狄トナシ深ク之ヲ罵リシト雖、彼ノ廣大ナ
 ル堅艦ヲ見テ、愕然トシテ他ニ強盛國ノアリシ
 ナ知リシナリ、然リ而シテ交通ヲ開キシヨリ泰
 西ノ文物日ニ闖入シ日ニ新ニシテ日ニ亦新ナ
 リ、神州人士ノ機敏ナル、早ク已ニ泰西ノ風ヲ摸
 疑シ輸致シ、文物ノ潮勢怒濤ノ如シ、而シテ未曾
 有ノ長足ノ進歩ヲナシ、今ヤ堂々万國ト並立シ
 強弱肉ヲ争フノ折柄、文ハ以テ彼レニ一步モ讓
 フザルモ翻テ武事ニ着目スレバ、外防備ハラズ

武備整ハズ、彼等ニ對シテ其等差アル實ニ月籠
 モ音ナラザルナリ
 來レ真正愛國ノ士、士ニ亦一言セン、嗚呼彼我勢
 カノ差アル實ニ斯ノ如シ、然ルヲ高枕安臥口ニ
 平穩ヲ唱ヘ恬トシテ省ミサルハ何ゾ、豈慨嘆ニ
 堪ユベケンヤ
 今ヤ幸ニ世平穩ニシテ海内無事ナリ、然リト雖
 モ若シ不幸ニシテ外旗翻々鉄艦波濤ヲ蹴テ我
 港内ニ侵入セハ、嗚呼我日本國民タルモ夫レ如
 何トナス、此ノ時ニ乘ジ例ヒ鉄騎百千蹄ヲ横メ

健將銳卒劍ヲ横ヒアルモ亦何ゾ彼等ニ敵スヘ
 ケレ、曰ク彼レニハ戰器具備シ國大ニ兵多ク且
 殷富ナルヲヤ
 嗚呼吾神州人士果シテ之ヲ知ラサル乎、否々決
 シテ知ラザルニアラズ、世人ハ毎ニ大膽ニモ言
 ヘリ、我皇國ノ旭旗ヲシテ比馬刺亞ノ高峰ニ
 シ累々タル我皇國ノ軍船ヲ地中海ニ浮ヘ我芙
 蓉ノ靈岳ヲ望テ敬崇セシメンノミト、嗚呼此言ヤ
 雄壯ナリ神州人士果シテ之レヲ行ヒ得ルカ、假
 リニ行ヒ得ルトスルモ今日ノ狀況ヨリ之ヲ察

スレハ果シテ幾年ノ後ニアルカ余輩ハ其實力
 如何ニ苦シムナリ
 而リト雖モ我神州ハ土地豊穰ニ人亦英資アリ、
 苟モ國民ニシテ此ノ志氣ヲ振興シ剛勇活潑ノ
 氣力ト祖先遺傳ノ繼承セシ忠君愛國ノ精神ヲ
 以テ一身ヲ犠牲ニ供シ以テ國家ノ鐵壁トナリ
 萬里ノ長城トナリタラシニハ、亦決シテ難事ニ
 非ルナリ、西哲嘗テ言アリ曰ク精誠貫日月忠義
 徹骨髓ト、宜ナル哉言ヤ、我國民タルモノソレ之
 レヲ書シテ以テ自ラ戒ム

明治廿七年六月廿一日印刷

全 二十八日發行

長野縣北佐久郡小田村百十四番地

著 者 萩 原 文 吉

長野縣北佐久郡小田村百七十二番地

印刷兼發行者 中 澤 清 太 郎

長野縣北佐久郡岩村田町百七十二番地

印刷所 岩 村 田 活 版 所

スレハ果シテ幾年ノ後ニアルカ余輩ハ其實力如何ニ苦シムナリ而リト雖モ我神州ハ土地豊穰ニ人亦英資アリ、苟モ國民ニシテ此ノ志氣ヲ振興シ剛勇活潑ノ氣力ト祖先遺傳ノ繼承セシ忠君愛國ノ精神ヲ以テ一身ヲ犠牲ニ供シ以テ國家ノ鐵壁トナリ萬里ノ長城トナリタランニハ、亦決シテ難事ニ非ルナリ、西哲嘗テ言アリ曰ク精誠貫日月忠義徹骨髓ト、宜ナル哉言ヤ、我國民タルモノソレ之レヲ書シテ以テ自ラ戒ム

明治廿七年六月二十六日印刷

全 二十八日發行

長野縣北佐久郡中施村百十四番地

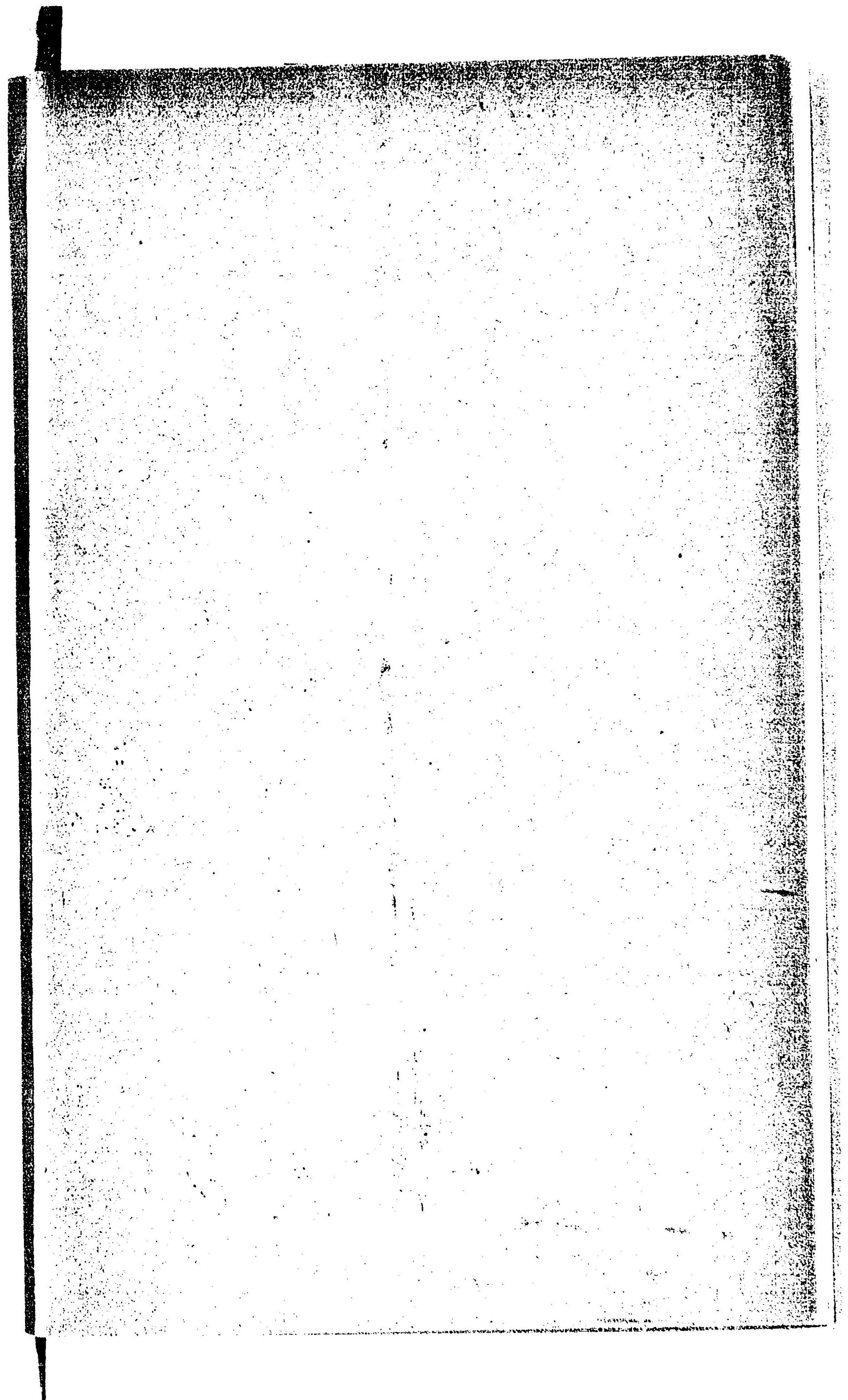
著 者 荻 原 文 吉

長野縣北佐久郡岩村田町百七十二番地

印刷兼發行者 中 澤 清 太 郎

長野縣北佐久郡岩村田町百七十二番地

印刷所 岩 村 田 活 版 所



039723-000-4

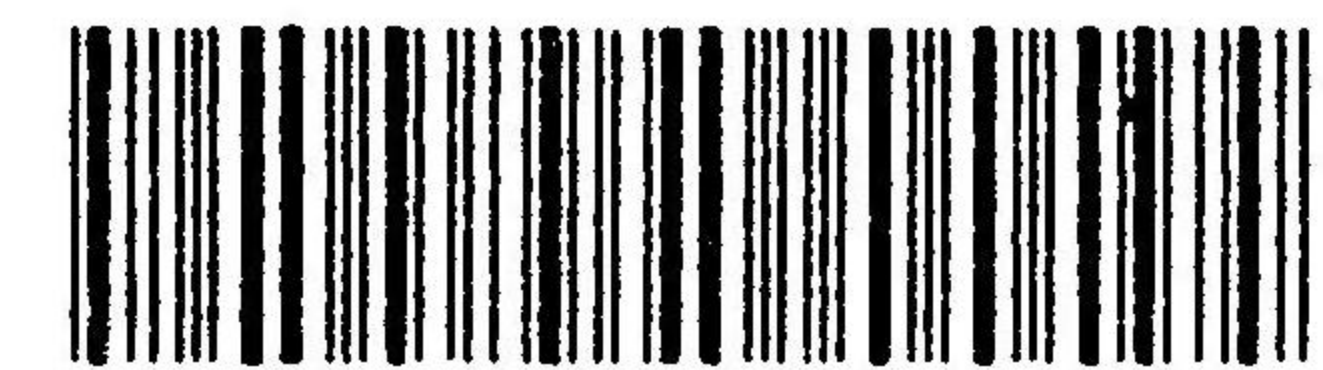
特17-717

やまと民族

荻原 文吉/著

M27.6

BDA-0315



やまと民族